

<荒野か、水のほとりか>

エレミヤ17：5～8

「祝福」を生きる秘訣はどこにあるのだろうか・・・？

あなたがたのからだを、神に受け入れられる、きよい、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの靈的な礼拝です。この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。 ローマ12：1、2

神の前で、自分のすべてが照らし出される。

それを正直に見つめる。自分のありのままを告白する。

助けが必要ななら求め、悔い改めが示されたら素直に応答する。

靈的な礼拝は、私たちの正直な告白から始まる。

神の前で本音と建前を使い分けるようであれば、神は私たちの内に完全に触れることが出来ない。

しかし聖霊は、そのような私たちをいつも靈的な礼拝へ導こうとされる。

主の臨在に満ちた礼拝の中で・・・

自分が負っている荷をおろせる

自分自身が赦されて、癒され、そこで神の愛に充足する。

祝福とはどんなこと？ 子孫繁栄？ 家族が健康？ 経済的心配もない？

順風満帆と思える人生を送る事？

物理的な祝福だけでなく、靈的祝福がある。

1、祝福の表れは

欲しい物(事)が手に入った！ 順調に事が進んでいる！

外側から何かを受けて得る喜びと違い、それがある、無いに関わらず内側に流れる喜び。単純に、主と共にあることの喜び。

聖霊の臨在の中で、生きた礼拝に身を置く時に見出す。

神から言葉を預かったエレミヤは、バビロン帝国の脅威におびえ、わらにもすがる思いの中にある人々にこのメッセージを語った。

